

「セロテック」キャリブ-ST

◆はじめに

「セロテック」キャリブ-STはヒト血清を原料として調製し、変性がなく、性状が実試料と近似した液状凍結品で、キャリブレータ、あるいは精度管理用試料として開発しました。

◆使用方法

- 1) 使用前日に冷蔵庫（2～10℃）に静置して融解させるか、使用当日25～37℃の水浴中で完全に融解します。融解後は泡立っていないようにゆるやかに転倒混和してください。
- 2) 点眼ビンのキャップを開け、サンプルカップ等に分注してご使用ください。
- 3) 融解後は2～10℃保存で2週間安定です。また、凍結融解は5回まで安定です。

◆貯法および有効期間

貯法：-20℃以下保存 有効期間：製造後1ヵ年

◆包装形態

製品コード	製品内容	包装
A244-00	「セロテック」キャリブ-ST	2ml×3

◆使用上の注意

- 1) 原料であるヒトプール血清中のHBs抗原、HIV抗体、HCV抗体は、EIA法にて陰性であることを確認してあります。しかしヒト血清に由来する試料中に感染性が全くないことを証明するための方法が、まだ確立されていません。
患者血清と同様に注意して取り扱ってください。
- 2) 各成分濃度はロットによって異なりますのでご注意ください。
- 3) 本品は、アジ化ナトリウムを含有しておりませんので、PODやカタラーゼに対する阻害はありません。
- 4) 製品到着時に融解していた場合でも表示値には影響ありませんが、到着後すみやかに凍結保存してください。
- 5) 分析値表中の上位の標準物質とは測定した結果の正確さをトレースするための上位の管理物質を記載しています。
- 6) カルシウムでは、測定法によって測定値に差が認められる場合がありますが、これは血清の性状や共存物質によるものです。使用目的によって、どの値を使用するかを選択してください。
- 7) 総蛋白及びアルブミンの測定値は、弊社製品以外の測定用試薬を用いた場合に異なる結果となる場合がありますので、使用に先立って適用性をヒト血清などを用いて確認してください。

◆分析値(表示値)

		Lot No.				
項目	(測定法)	表示値	分析値	不確かさ※	単位	上位の標準物質
U A	(JSCC勧告法)		±		mg/dL	ReCCS JCCRM521-10
U N	(ウレアゼ ^g -GLDH・UV法)		±		mg/dL	NIST SRM 909c
	(ウレアゼ ^g -GLDH・UV法)		±		mg/dL	ReCCS JCCRM521-10
C R E	(IDMS法)		±		mg/dL	ReCCS JCCRM521-10
C a	(原子吸光法)		±		mg/dL	NIST SRM 956c
	(アルセナゾⅢ法)		±		mg/dL	ReCCS JCCRM321-6
I P	(PNP-XOD-POD法)				mg/dL	社内基準物質
	(PNP-XOD-POD法)		±		mg/dL	ReCCS JCCRM324-2
M g	(原子吸光法)		±		mg/dL	NIST SRM 956c
	(原子吸光法)		±		mg/dL	ReCCS JCCRM321-6
G L U	(JSCC勧告法)		±		mg/dL	ReCCS JCCRM521-10
T P	(ビウレット法)		±		g/dL	NIST SRM 927d
A L B	(BCG法)		±		g/dL	IRMM ERM-DA470k/IPCC
	(BCP法)		±		g/dL	IRMM ERM-DA470k/IPCC
F e	(Nitroso-PSAP法)		±		μg/dL	ReCCS JCCRM322-4
U I B C	(Nitroso-PSAP法)		±		μg/dL	JCSS鉄標準液

※その他の注意事項

不確かさの評価および表現は日本臨床検査標準協議会(JCCLS)・認証委員会標準物質小委員会、(社)日本臨床検査薬協会(JACRI)・技術委員会報告の『企業が表示値と不確かさをキャリブプレートに表示するためのガイドライン』(平成17年1月初旬)に基づいて表記しております。
 なお、表記した不確かさは包含係数k=2(95%信頼区間)を使用しております。



株式会社 セロテック

千歳市泉沢1007-67 TEL 0123-28-2121 FAX 0123-28-2113